

ラグビーワールドカップの準備状況

質問者 石井 孝治 (志政会)

公認チームキャンプの受入れ及びファンゾーンの開催に係る準備状況を問う。

〔答弁〕平成30年9月、本市とラグビーワールドカップ2019組織委員会は、イタリア代表の公認チームキャンプ地契約を締結した。

イタリア代表チームの受入れに向けては、静岡県と連携を図り、準備を進めていく。

また、ラグビーを身近に感じてもらうため、小学生を対象に開催するラグビー体験や市内開催イベントにおいて、広くラグビーの魅力を発信していく。

ファンゾーンの開催に向けては、現在、県が運営計画を検討しているところである。本市としては、ファンゾーンの設置が市の魅力発信や賑わい創出の契機となり、地域活性化につながるものとなるよう、県と共に取り組んでいく。

語句説明

旧安倍郡六か村

昭和44年に旧静岡市に編入合併した旧安倍郡の大河内村、梅ヶ島村、玉川村、井川村、清沢村、大川村の6つの村。

語句説明

ファンゾーン

大型スクリーンによるパブリックビューイングやステージイベント、飲食ブースやラグビー体験コーナーなどを楽しむことができるイベントスペース。

開催都市の静岡県では、本市（駿府城公園）と浜松市に設置される。

中山間地域振興施策の推進

質問者 安竹 信男 (山と町)

旧安倍郡六か村合併50周年を迎えるに当たり、中山間地振興施策をどのように推進していくか。

〔答弁〕井川地区へのトンネル開設の決定や梅ヶ島の国民保養温泉地の指定、水わさびの伝統栽培の世界農業遺産登録、今後の中部横断自動車道の開通など、様々な環境の変化が起きている。この機を捉え、オクシズの魅力ある地域資源の情報発信と磨き上げにより交流人口の拡大を図っていく。

情報発信では、SNSを活用してわさび田などオクシズならではの風景を動画で配信するほか、オクシズの商品を扱う都内の自然食品店を通じて首都圏へのPRを行っていく。

また、魅力ある地域資源の磨き上げには、地域住民の取組への支援とあわせて、地域外の人材や投資の呼び込みが有効と考えている。

主な議案

11月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

平成30年度補正予算

○平成30年度静岡市一般会計補正予算(第4号)

地方創生として、「今川義元公生誕五百年祭」の周知啓発等に対する経費のほか、台風24号の災害復旧対策として、道路等災害復旧に要する経費などの増額を計上しました。

○平成30年度静岡市一般会計補正予算(第5号)

職員の給与改定に要する経費のほか、小学校等へのエアコンの設置に要する経費や台風24号により被災した農業用施設の再建等への助成に要する経費などの増額を計上しました。

第4号、第5号により、補正予算の総額は59億9,831万円の増額となりました。この補正額を加えた累計予算額は3,228億1,659万円です。

静岡病院の第2期中期目標策定

○地方独立行政法人静岡市立静岡病院第2期中期目標の策定について

地方独立行政法人法に基づき、法人が達成すべき業務運営に関する目標を定めるものです。

三保松原文化創造センター開設

○静岡市三保松原文化創造センター条例の制定について

三保松原文化創造センターの設置及び管理について、必要な事項を定めるため制定するものです。



三保松原文化創造センター(外観のイメージ)

生産緑地地区の面積要件緩和

○静岡市生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例の制定について

生産緑地法の一部改正に伴い、生産緑地地区指定の面積要件を緩和するため制定するものです。

人口減少対策特別委員会が提言書を提出しました

人口減少対策特別委員会では喫緊の課題である人口減少及び地方創生に対応するため、定住・交流人口の増加策及び全ての市民がいきいきと暮らせるまちづくりについて協議してきました。



これまでの調査・協議結果を基に、将来までも持続可能な静岡市を構築していくため、若者・子育て世代に焦点を当て、「安心して子育てできる環境の整備」「働く場の確保」、さらに、それらの施策を効果的に人口増加に結び付けるための「マーケティングの強化」の3点についての施策等を提言書にまとめ、11月13日に市長に提出しました。

総合交通政策特別委員会

～両河内地区の自主運行バス「ココバス」を視察しました～

11月13日、総合交通政策特別委員会が清水区の両河内線自主運行バス「ココバス」(但沼、大平、板井沢系統)の実施状況を調査するため現地視察を行いました。



観光文化経済委員会

～日本平周辺施設を視察しました～

12月14日、観光文化経済委員会が、日本平周辺の誘客施設のうち、日本平動物園及び日本平夢テラスの現地視察を行いました。



お知らせ

議会運営委員の鈴木節子議員の委員辞任に伴い、寺尾昭議員が新たに同委員に選任されました。